



有田小学校便り

オーレ！～あたたかい心～

校長 梅澤 崇

先月、本校でフラメンコの公演がありました。上越文化会館の芸術普及事業として企画されたコンサートです。子どもたちは日本を代表するダンサーの鈴木眞澄さんからフラメンコの心得を学び、賞賛や激励を込めた「オーレ」という掛け声を叫び手拍子を打つなど大いに盛り上がりました。フラメンコはアンダルシア地方の人々の苦しみから生まれた音楽です。鈴木さんはコンサートの最後に、「たくさんオーレと言ってくれてありがとう。」と語り、「悲しそうにしている人がいたらオーレって言ってあげたらいいね。」と、子どもたちに呼び掛けていました。

有田小学校の「あ」は、温かい心の「あ」です。授業では友だちと一緒に活動したり話し合ったりする活動を大切にし、よさを認め合うことを通して、「友だちと一緒によかった」「自分もみんなの役に立てて嬉しかった」という気持ちを高めようとして



きました。子どもたちが学級や学校の中で自己有用感を膨らませていくことが、あたたかい心の育成につながると考えるからです。先日のコンサートでは、会場のあちらこちらから子どもたちの「オーレ」を聞くことができ、校長として嬉しくなった次第です。

さて、梅雨が明けました。まもなく夏休みが始まります。学校を離れ、家庭や地域で様々なことを学び、子どもたちがたくましく成長する期間です。終業式では「計画的に過ごすこと」「安全に過ごすこと」「思い出をきちんと記録に残すこと」を話そうと考えています。子どもたちが充実した夏休みを送れるよう願っています。

学校行事から

6月2日(土) PTA 交流スポーツ大会

日頃の運動不足の解消と、会員相互の親睦と交流を図ることを目的に開催されました。

大会後のさわやかな疲れの中にも、にこやかな表情が見られ、大会の目的が十分に達成されたことがわかりました！



新しいプール！ 初泳ぎ！

早い梅雨明けとともに、プールでは元気な声が響きました。少し冷たい水も、新しいプールのせいか、へっちゃらです！

1学期いっぱいまで、水泳の授業でにぎわっています！

6月15日(金) 遠足

縦割り班を編成して、遠足に出かけました。目的の地は、小猿屋小学校。知り合ったばかりの“縦割り班”の仲間の名前を覚えよう！

遠足の振り返りでは、班全員の名前と顔を覚えられたと、満足していました。



6月30日(土) 音楽発表会

夏の蒸し暑さも吹き飛ばすような、さわやかな歌声と音楽が体育館に響きました。

多くの地域の方や保護者の方から参観いただき、有田小学校の今を見ていただきました。

全校で合唱した校歌は、入学式の時よりもさらに磨きがかかり、子どもたちの歌として、地域や保護者の皆様の心に届いたのではないのでしょうか。